

平成20年第6回臨時会 吉 岐 市 議 会 会 議 録 (第1日)

議事日程 (第1号)

平成20年10月24日 午後1時30分開会、開議

日程第1	会議録署名議員の指名	11番 坂口健好志 12番 中村出征雄
日程第2	会期の決定	1日限り 決定
日程第3	議案第88号 平成20年度吉岐市一般会計補正予算(第4号)	市長 説明、質疑 委員会付託 省略 本会議・原案のとおり可決
日程第4	議案第89号 平成20年度吉岐市老人保健特別会計補正予算(第3号)	市長 説明、質疑 委員会付託 省略 本会議・原案のとおり可決

本日の会議に付した事件

(議事日程第1号に同じ)

出席議員(24名)

1番 音嶋 正吾君	2番 町田 光浩君
3番 小金丸益明君	4番 深見 義輝君
5番 坂本 拓史君	6番 町田 正一君
7番 今西 菊乃君	8番 市山 和幸君
9番 田原 輝男君	10番 豊坂 敏文君
11番 坂口健好志君	12番 中村出征雄君
13番 鷓瀬 和博君	15番 馬場 忠裕君
16番 久間 進君	17番 大久保洪昭君
18番 久間 初子君	20番 瀬戸口和幸君
21番 市山 繁君	22番 近藤 団一君
23番 牧永 護君	24番 赤木 英機君
25番 倉元 強弘君	26番 深見 忠生君

欠席議員(1名)

14番 中田 恭一君

欠 員（１名）

事務局出席職員職氏名

事務局長 松本 陽治君 事務局次長 加藤 弘安君
事務局係長 瀬口 卓也君 事務局書記 松永 隆次君

説明のため出席した者の職氏名

市長 白川 博一君 副市長 久田 賢一君
教育長 須藤 正人君 総務部長 小山田省三君
市民部長 米本 実君 保健環境部長 山内 達君
産業経済部長 山口 壽美君 建設部長 中原 康壽君
消防本部消防長 山川 明君 病院事業管理監 市山 勝彦君
病院管理部長兼病院事務長 山内 義夫君
教育次長 白石 廣信君 財政課長 牧山 清明君

午後 1 時 30 分開会

議長（深見 忠生君） 皆さん、こんにちは。

中田恭一議員から欠席の届け出がっております。ただいまの出席議員は 24 名であり、定足数に達しております。

ただいまから、平成 20 年第 6 回壱岐市議会臨時会を開会します。

これから議事日程表（第 1 号）により、本日の会議を開きます。

日程第 1 . 会議録署名議員の指名

議長（深見 忠生君） 日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。

本臨時会の会議録署名議員は、会議規則第 81 条の規定により、11 番、坂口健好志議員及び 12 番、中村出征雄議員を指名いたします。

日程第 2 . 会期の決定

議長（深見 忠生君） 日程第 2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。本臨時会の会期は、本日 1 日としたいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（深見 忠生君） 異議なしと認めます。したがって、本臨時会の会期は本日 1 日と決定しました。

ここで、市長から発言の申し出がっておりますので、これを許します。白川市長。

〔市長（白川 博一君） 登壇〕

市長（白川 博一君） 開会に当たりまして、ごあいさつを申し上げます。

本日ここに、平成 20 年第 6 回壱岐市議会臨時会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、御健勝にて御出席を賜り、厚くお礼を申し上げます。

深まる秋を迎え、市内各地におきましては文化・スポーツイベントが目白押しに開催され、地域全体が賑わっております。

しかし、市民生活におきましては燃油価格の異常なまでの高騰が深刻な影響を与え、本市の基幹産業である農業、漁業、観光業におきましても非常に大きな打撃を受けております。特に、漁業では、魚価の自助努力の限界を超え廃業に追い込まれかねない危機的状況にあります。

国、県におきましては、水産業を中心に省エネ対策などと一体的な取り組みに対して支援がなされているところでありますが、多くの漁業者の皆さんはその日その日の出漁に苦慮されているところであります。

また、農業におきましても葉たばこ、施設園芸等、大量に燃油を消費される生産者にとりまして燃油の高騰は死活問題となっております。

このような現状を踏まえ、壱岐市といたしましては基幹産業である農業、漁業の存続のため、燃油高騰緊急対策事業として燃油代の一部助成をいたしたいと考えております。議員各位の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、本日提出させていただきました案件は、ただいま申し上げました燃油高騰緊急対策に係る補正予算案案件等 2 件でございます。何とぞ慎重な御審議をいただき、適正なる御決定を賜りますようお願い申し上げます。

〔市長（白川 博一君） 降壇〕

日程第 3 . 議案第 8 8 号

議長（深見 忠生君） 日程第 3、議案第 8 8 号平成 20 年度壱岐市一般会計補正予算（第 4 号）を議題とします。

提案理由の説明を求めます。白川市長。

〔市長（白川 博一君） 登壇〕

市長（白川 博一君） 本日の議案につきましては、担当部課長に説明させますので、よろしくお願いたします。

〔市長（白川 博一君） 降壇〕

議長（深見 忠生君） 牧山財政課長。

〔財政課長（牧山 清明君） 登壇〕

財政課長（牧山 清明君） 議案第 88 号平成 20 年度壱岐市一般会計補正予算（第 4 号）について説明をいたします。

1 ページをお開き願います。

第 1 条、歳入歳出予算の補正、歳入歳出予算の総額に 3,062 万 1,000 円を追加し、歳入歳出予算の総額を 233 億 3,976 万 5,000 円とする。

第 2 条、債務負担行為の補正、債務負担行為の追加は第 2 表、債務負担行為補正による。本日提出、壱岐市長。

4 ページをお開き願います。

第 2 表、債務負担行為補正、1、追加事項、一般廃棄物処理施設整備事業、期間、平成 20 年度から平成 23 年度、限度額、78 億 1,455 万 3,000 円、今回の債務負担行為の補正でございますが、廃棄物処理施設整備事業の入札を、11 月中旬に入札公告を実施するために後年度の債務負担行為の議決をお願いをするものでございます。

次に 8 ページをお開き願います。

2、歳入、18 款繰入金 2 項基金繰入金、沿岸漁業振興基金繰入金 2,500 万円、充当先といたしましては、水産業振興費の燃油高騰緊急対策に充当をいたしております。19 款繰越金 1 項繰越金、前年度繰越金 562 万 1,000 円、次に 10 ページをお開き願います。

3、歳出、3 款民生費 1 項社会福祉費、老人保健特別会計繰出金としまして 350 万円、これは老人保健特別会計の医療費の補正に伴います市の負担分でございます、医療費を 4,200 万円補正をいたしております。その 12 分の 1 の市の義務負担分でございます。

5 款農林水産業費 1 項農業費、先ほど市長が説明いたしましたように、燃油高騰緊急対策事業といたしまして 212 万 1,000 円、施設園芸作物及び葉たばこの生産を営むために使用した農業用の A 重油、灯油を 1 リッター当たり 5 円助成をするものでございます。

3 項水産業費、同じく 2,500 万円を計上いたしております。漁業用の燃油、A 重油、軽油、ガソリン及び混合油のリッター当たり 5 円を助成するものでございます。

それぞれの要綱によりまして、助成期間は農業では平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで、漁業では平成 20 年 10 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日までといたしております。

なお、平成 20 年 4 月 1 日現在との供給単価の差額が、リッター当たり 5 円以内の場合は助成をしないということにいたしております。

次に、12 ページをお開き願います。

債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額、または支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書でございます。一般廃棄物処理施設整備事業の当該年度以降の支出予定額と財源内訳は記載のとおりでございます。

〔財政課長（牧山 清明君） 降壇〕

議長（深見 忠生君） これから、質疑を行います。質疑ありませんか。1番、音嶋正吾議員。

議員（1番 音嶋 正吾君） まずもってこの一般会計、今臨時議会で提案をされておりますが、こうした重大な案件を提案されるのに当たって、議員各位に事前に20年度吉崎市一般会計補正予算（第4号）、これとこのひな形だけで、我々に議会を招集して、こうした資料を送るべきじゃないですか。これは重大なことであると思いますよ。

一般廃棄物の債務負担行為にかかわるもの、そして燃料高騰対策にかかわるもの、事前に私はこの議案書を各議員に送って、そしてきちんと議案を精査する時間を与えるべきではないかと思っておりますが、市長、いかがでしょうか。

議長（深見 忠生君） 白川市長。

〔市長（白川 博一君） 登壇〕

市長（白川 博一君） ただいま議員のおっしゃる趣旨は、十分理解をいたしました。

今回につきましては非常に重要な案件でもございますが、件数が少ないということもございまして、十分この場で検討していただけるんじゃないかという気持ちで従来どおりの送り方をさせていただいております。

今の音嶋議員の御質問につきましては、次回以降十分検討させていただきたいと思っております。

〔市長（白川 博一君） 降壇〕

議長（深見 忠生君） 音嶋議員。

議員（1番 音嶋 正吾君） 市長の発言の趣旨はわかりましたけども、12、13ページですね、ここで債務負担行為78億1,400万円ありますね。

そのうちの国庫支出金で22億8,000万円、地方債52億5,300万円、これの地方債は合併特例債を意味するものか、そこら辺の地方債の内訳等わかりましたら、ここで教えていただきたいと思っております。

議長（深見 忠生君） 牧山財政課長。

財政課長（牧山 清明君） 地方債につきましては御指摘のとおり、合併特例債を現在計画をしているところでございます。

議長（深見 忠生君） 音嶋議員。

議員（1番 音嶋 正吾君） 78億1,400万円というのは、初めて我々が目にする数字で

す、これは。

こういう莫大な金を議案書をさきに提出もしないで、ここで債務負担行為を認めなさいと、余りにも議会軽視ではありませんか。債務負担行為をここで議決を受けるということは、議決すればGOサインを出したということですよ。それを、きょう初めて渡された議案書で議決を求めるということは、私は、はなはだ議会軽視ではないかと思いますが、市長、どうですか。

議長（深見 忠生君） 白川市長。自席でいいですよ。

市長（白川 博一君） 先ほど説明がありましたように、11月に入札公告をする。実際には来年4月か5月に入札は行われるわけでございますけれども、仕様書を出すというところで、財源の裏づけがないのに仕様書というか、公募はできないという状況にあって、この時点で債務負担行為を行おうとするものでございます。

この債務負担行為をしたから、即、入札GOということではございません。詳しいことを担当部長にもう少し説明させます。

議長（深見 忠生君） 山内保健環境部長。

保健環境部長（山内 達君） 廃棄物の処理施設の整備を、総合評価方式という方式で壱岐市としては対応したいということを考えております。これは、国の方からもそういう指導を受けております。

それに基づいて来年、市長が今申し上げましたとおり、4月、5月に入札をするということに予定をいたしますと、4月、5月に入札をしませんと次の工事の方が完了しない。それからさかのぼりますと、今月末もしくは来月には債務負担行為の議決をお願いするということになるわけでございますけれども、その債務負担行為の議決がございませんと入札の公告ができないということになるために、今回お願いをしたわけございまして、来月ごろ臨時議会の方を予定いたしておりましたけれども、今回燃油高騰の臨時議会が召集をされるということがございましたので、それにあわせて債務負担行為の予算を提案させていただいているというところでございます。

以上でございます。

議長（深見 忠生君） 音嶋議員。

議員（1番 音嶋 正吾君） 当然、入札手続きを執行されとなれば、債務負担行為を事前に議決を受けるのは当然のことと我々もそれは認識いたしております。

ということは、事業費を、白川市長は廃棄物処理計画においては当分の計画の見直しをする、削減をするということでありましたが、ここに出ている金額は78億円ですね、当初は80億円、そしたら白川市政になって約2億円の見直ししかできないということでここに債務負担行為として事業費を上げておられると思うんですね。

この件に関してはどうですか、市長は。

議長（深見 忠生君） 白川市長。

市長（白川 博一君） その件につきましては、前回の議会におきまして皆様方に御説明をしたところでございます。

議長（深見 忠生君） ほかに質疑ございませんか。24番、赤木議員。

議員（24番 赤木 英機君） 債務負担行為は借られることです。ことから幾ら組まれるのは結構ですけど、今度その入札のためにいろんな見積もりつくられるわけですが、特に私も前回の全協のとき申し上げましたように、このプラントというのは非常に一般の人ではわからないし、これがまたいろいろあるわけですね。

ですから、債務負担行為自体においてはそれはまあどのような地方債であれ、借られるのは結構ですけど、ぜひお願いをしておきたいのは、このプラントがいろんな面で値段といいますか、価格が普通ではちょっとわからないわけですよ、特殊なもので。

ですから、過去の例でも、同じような能力で何億円の差が出た経過も過去あるわけですね、旧四町時代に。

ですから、これだけは十分に執行に当たられては、こういう財政の厳しい折ですから、今鉛筆1本も言われてる時代でしょ。ですから、ぜひそういうところから無駄遣いを今後検討していただきたいと要望いたしておきますので、ひとつよろしく願いたいと思うんですが。

議長（深見 忠生君） 白川市長。

市長（白川 博一君） そのことにつきましては、極力、適正な価格といいますか、いろんな面で研究をいたしまして適正価格で設備を整えたいと思っております。

赤木議員のおっしゃる趣旨に沿うように頑張りたいと思っております。

議長（深見 忠生君） 赤木議員。

議員（24番 赤木 英機君） これは、その執行の権限ですから私は言えませんが、本来ですと、もう一般競争入札の方が一番全国でやられているような価格が平等になるんじゃないかならうかと思しますので、ま、これは執行の権限ですから、私が言うべきじゃないでしょうけど、そういう面もちょっと頭の隅には入れておっていただきたいと。

議長（深見 忠生君） 白川市長。

市長（白川 博一君） おっしゃいますように、一般競争入札ということにいたしております。

そして、総合評価方式でございますので、ただその中で金額だけではないということも御承知おき願いたいと思っております。

総合評価方式というのは、例えば金額は4割見ますよ、あと能力とかいうのをあと見ますよとかいう、そういう評価方式でございますので、ただそういう意味では最低の金額のところは落札するとは限りませんが、一般競争入札ということで執行いたします。

議長（深見 忠生君） 赤木議員。

議員（24番 赤木 英機君） 市長の申されたことわかるわけですが、過去に金額の安いのと、同じようなトン数ですよ、高いのとあったわけですが、1つもいまだに、もう10何年たつんですが能力は落ちておりません。それを頭に入れておっていただければ結構と思います。

議長（深見 忠生君） ほかに、12番、中村出征雄議員。

議員（12番 中村出征雄君） 2点だけ、お尋ねしたいと思います。

まず第1点目は、先ほどの議案説明の中で燃油高騰の分の助成については、農業者については4月に遡及適用する、そして漁業者については10月からというような説明でなかったかと思いますが、この適用時期の6カ月延びた理由等について説明を願いたいと思います。

それから焼却場の関係ですが、来年の5月ぐらいですかね、入札されるということです。そして、今回は総合評価方式ということで、たしか当初予算に総合評価委員会の委員報酬をたしか計上されておったと思いますが、学識経験者ということですが、こういった方を何名、指名されるか、その選任の方法等についてお尋ねをいたします。

議長（深見 忠生君） 白川市長。

市長（白川 博一君） 第1点目の燃油のことにつきまして、農業につきましては20年度産農産物に対する補助と考えております。

となりますと、夏場ですけどたばこが既に燃油を使っております。たばこに適用するために4月からということにいたしております。

2点目の総合評価委員につきましては、担当部長に説明させます。

議長（深見 忠生君） 山内保健環境部長。

保健環境部長（山内 達君） 総合評価委員の組織、機構でございますけれども、外部から3名、それから内部から3名ということでございます。

その人選といいますか、どの部署におられるということについては、今後メーカー等からいろいろなアポ等あった場合は、判定に対して平等性を欠くという観点から公開はしないということで進めさせていただいております。

以上でございます。

議長（深見 忠生君） 中村議員。

議員（12番 中村出征雄君） そうすれば、その総合評価委員会の6名の方で、もう入札資格者の決定から、そして落札者の決定まで、その6人のメンバーで決定するということですか。そうじゃなくて、その意見を聞いて市長が最終的には判断されると思いますが、その点はどういふふうになりますかね。

議長（深見 忠生君） 山内保健環境部長。

保健環境部長（山内 達君） 中村議員さんのおっしゃったとおりでございます。

議長（深見 忠生君） 豊坂敏文議員。

議員（10番 豊坂 敏文君） 先ほど水産の中で10月という、これは特にイカ釣り業、その他にも1本釣りもあるわけですが、10月1日と設定された理由をお願いしたいと思います。

それから今のこの2,500万円になった積算根拠、これについて試算等があると思いますが、それをお聞かせ願いたいと思います。

以上です。

議長（深見 忠生君） 白川市長。

市長（白川 博一君） 前回の議会で御質問があったときに、4月から9月までという、他の市などが既に補助されとったわけですけど、4月からさかのぼる燃油の確定した量というのが非常に把握が困難ではなかろうかということがございまして、過去には遡及しないということを申し上げたと思うんですが、そういったこともございまして、10月からですとはっきり量が明確になるということで10月からしたところでございます。

少しうがった見方をいたしますと、漁協で取り扱っている燃油の中に船に入れたものか、自家用の車に入れたものかわからないというようなところもございまして、今からこういうことでびしと分けてくださいよという言い方をして、そういった確かに漁船に使ったんだということが把握できるようにということで10月1日からしたところでございます。

それから、算出基礎について担当部長が説明いたします。

議長（深見 忠生君） 山口産業経済部長。

産業経済部長（山口 壽美君） 豊坂議員さんの算定の基礎につきまして、御説明をいたしたいと思います。

昨年度の漁協の実績で10月から3月までの実績が、おおむね8,000キロリットルという実績が出ております。その中で、国の省エネ対策実証事業に入る分については、市の単独の補助は出さないということになっております。

今のところの見込みで、5つの漁協でおおむね32%程度が国の補助事業に乗るんじゃないかなという見通しが立っておりますので、おおむね5,000キロリッターぐらいが市の単独補助の対象になるんじゃないかということで、今回5,000キロリッターの5円の2,500万円ということで計上させていただいております。

以上です。

議長（深見 忠生君） ほかに、質疑ありませんか。13番、鵜瀬議員。

議員（13番 鵜瀬 和博君） 燃油高騰につきまして、1点御質問させていただきます。

今回、臨時議会において補正予算で約2,700万円ほど燃油対策としてされるわけですが、

この燃油対策について、ほかの自治体においては9月の定例会で出したところが結構、県下でたくさんございましたけども、今この時期に出すってということについて市長の所見をお伺いしたいということと、もう1つは農業、水産業についてはいいんですけども、やはり壱岐は離島ですので、特にトラック関係の燃油についてもかなり影響を受けてるんじゃないかと、そして先ほど来より市長が言われておりました各農産物、水産物の価格についても、そういった低価格でありながら輸送運賃が高くなったり、またはトラック協会においては燃油高騰の折なのに運賃を上げられないというような状況で大変厳しい状況が続いているかと思えますけども、今後そういった運送関係、トラック協会に対して、市長は農業、水産業以外にこういったことで支援をされるのか、その点について、2点お尋ねをいたします。

議長（深見 忠生君） 白川市長。

市長（白川 博一君） 鵜瀬議員の御質問にお答えします。

今、原油市場は一時150ドル近かったんですけど今70ドル近辺になっております。しかしながら、御存知のようにタイムラグがございます、小売りに来るまでにですね。ですからまだ高値は末端価格はしますので、やるということが1つと、それから9月の定例会まで決断がつかなかったという私のそれはまあ、何と申しますか、判断が少し遅かったかなと思っているところでございます。

しかしながら、半年間ということで、一応実施をしたいということで臨時会を招集いたしましたところでございます。御理解をいただきたいと思えます。

それから、今回、壱岐の基幹産業でございます第一次産業についてこの燃油高騰緊急対策の補助を出しております。おっしゃるようにトラック業界もでございます。しかしながら、第一次産業の農・漁業について補助を出したいと思っているところでございます。

今のところ、トラック運送業等々は考えていません。

議長（深見 忠生君） 鵜瀬議員。

議員（13番 鵜瀬 和博君） 最初の1点目につきまして、市長は判断がおくれたのは大変申しわけないということでございます。

先ほどからも音嶋議員も言われてましたように、市長はすべての行政においてはスピード感を持って決断をしていきたいということを言われておりますので、やはりこういった島内の経済が一番打撃を受けるような状況になったときには、第1に財政が厳しいと言いながらも今回こういった基金がたまたまあったからいいようなもんですけども、そういったものをやはり再度いろいろ、いろんな方向から見直して、早急に対応していただくようお願いしたいと思います。

そしてもう1点ですけども、今後国の補助が、燃油対策で特に漁業においては出漁関係によってはかわってくるかと思うんですけども、現時点では農業、漁業あわせて2,700万円の補助

を今回の補正でされてますが、今後成果が上がって再度要望があった場合は増額するおつもりはあるのか、その点についてお尋ねをいたします。

議長（深見 忠生君） 白川市長。

市長（白川 博一君） 増額っていうのはなかなか厳しいと思いますけど、期間を長くするという、それは考えていかないかと思っています。

議長（深見 忠生君） 鵜瀬議員。

議員（13番 鵜瀬 和博君） ぜひ第一次産業だけでなく、いろんな形の産業においても補助金だけではなくていろんな形で御支援いただければと、それを強く要請して終わります。

議長（深見 忠生君） ほかに質疑ありませんか。17番、大久保議員。

議員（17番 大久保洪昭君） 緊急燃油対策について、1、2点ちょっとお尋ねをします。

この実証事業取り組み船ですね、これは補助対象外ということです。で、今この実証事業取り組み船が、例えば勝本漁協で申しますと244隻、19トン等を含めまして304隻、ほとんどの漁船が実証事業に取り組んでおるわけです、10%削減の方にですね。

そうした場合に、勝本漁協でいいますと補助対象船は潜水業者、いわゆる「かつぎ」、この人たち35隻の混合油ぐらいになると思うわけですね。それで、壱岐全島のこの実証事業実施船の隻数あたりはわかってないかということですね。先ほど32%と言われましたが、どうもこれのはっきりした数字じゃないというような私は感じは受けております。

現在、この実証事業に取り組んでいる漁協は、勝本漁協と石田漁協、それに郷ノ浦漁協、それに箱崎漁協、東部漁協あたりが11月から取り組むというような話を聞いておりますが、はっきりした数字が32%、これはどうも、どうかなという感じがするわけですね。おかしいというような感じがするわけですよ。

これ以上ふえる可能性もあるし、少なくなる可能性もある。ほとんどの組合の漁船が実証事業に取り組まれる漁船が出てくるとは思いますけど、その隻数あたりをはっきりつかんでないような感じがしますが、そこをちょっとお尋ねします。

議長（深見 忠生君） 山口産業経済部長。

産業経済部長（山口 壽美君） 大久保議員の質問にお答えいたします。

現在のところ、おおむね32%ぐらいじゃないかということで各組合からの集計をしたときにそういった形になっております。

補助金につきましては、各漁協から取りまとめて一括して各漁協から市の方に補助金をもらうようにいたしておりますので、各漁協で国の事業に乗った分と乗らない部分、仕分けして、してもらいような形にしております。

そういうことで、一応予定といたしましては2,500万円程度で、見込みといたしましてそ

の程度じゃないかということで組んでおるところでございます。

議長（深見 忠生君） 大久保議員。

議員（17番 大久保洪昭君） もう1点、これはそういう潜水業者あたり、やはりガソリン、普通の漁船にガソリン使うというエンジンはほとんどないわけですけど、潜水関係の方にガソリンを使う、混合油ですね、中には軽油使ってる方もおいでになりますけど、これが先ほども言われましたように漁船用か車に入れられるのか、ここのところ把握しにくいということです。

これは、私たち漁協の中でもちょっとこれは難しいんじゃないかというような話をされておりますけど、そこのところしっかりと把握しておかないと、これは郷ノ浦漁協において漁協の方でガソリンを販売しておりますので把握しやすいと思いますけど、ガソリンを販売していない漁協もありますので、直接やっぱスタンドに買いに行くわけですよ。そうした場合に、スタンドで買えばこれは漁船用であるか、または車にそのまま入れられるのか、そこんところはなかなかつかみにくいと思うわけですけどね、この点どうですか。

議長（深見 忠生君） 山口産業経済部長。

産業経済部長（山口 壽美君） おっしゃられるとおり、その辺のところにつきまして議論をしたところでございます。

把握につきましては、出漁日誌等により漁協の方で責任を持って把握してもらって、漁協から市の方に出してもらうという形をとろうと思っておるところでございます。

議長（深見 忠生君） いいですか。6番、町田正一議員。

議員（6番 町田 正一君） 一般廃棄物処理施設整備事業の78億円の分については、正直言って当然事前にもっとやっぱり説明が必要だろうと私も思います。

ただ、この金額自体は平成17年度の吉岐市の廃棄物処理計画書の中にそのまま載っております。あれからずうっと経過を経て、市長も議会で率直に謝罪もされましたけれども、確かに地元とのずうっと交渉の中でどうしてもやっぱり期日の延期というのが基本的にできないということで、今回やむを得ず、こうやって出されたと思います。

私は所管の委員会なんで、これはこれ以上は質問しませんけれども、この分については議員もここ3年間、資料も大量にもらって説明もずっとその都度受けておるわけですから、その中身については十分把握してもらいたいと思います。

それからちょっと単純な質問で申しわけないんですが、今回漁業の分で、これ吉岐市単独事業として2,500万円の補助を組まれたわけですか。

議長（深見 忠生君） 白川市長。

市長（白川 博一君） そのとおりであります。

議長（深見 忠生君） 町田議員。

議員（6番 町田 正一君） これの財源として沿岸漁業振興基金があります。これは、僕の認識が間違いなかったら、海砂の県からの配当ということもないですけど、その分の予算だと思えますが、今、これを見るとトータルで8億3,079万7,000円というのはこれ沿岸漁業振興基金がこれだけ積み立てられているというふうに認識でいいわけですか。

議長（深見 忠生君） 牧山財政課長。

財政課長（牧山 清明君） 基金の繰入金ということで、これは当初予算の折に減債基金とか財政調整基金とか、地域振興基金を取り崩したものがこの8億円になっております。

で、沿岸漁業振興基金の現在の積立額は、今回2,500万円を取り崩したところで、残りが1億473万6,000円現在基金を保有いたしております。

議長（深見 忠生君） 町田議員。

議員（6番 町田 正一君） たしか昨年の12月議会で、私はこの海砂の沿岸漁業振興基金の壱岐市への繰り入れが、県と市を見た場合、県が9割、市が1割しか入ってきてないわけですね。

この原油がこんな高騰しとるときにこの配分比率を早急に改めると、壱岐の海砂はほとんどってそれをまた県が一般会計の中に繰り入れておると、こういうけしからん話は絶対ないと、おかしいんじゃないかというような形で質問しましたけれども、市長もそれはぜひやりたいと、当時の長田市長が言われました。白川市長もぜひ、この海砂の市と県が9対1という数字は、これはもう絶対あり得ない数字です。

ぜひ、この分については、少なくともヒフティー・ヒフティーにして、直接壱岐全島の漁業者が、これ沿岸漁業振興基金となってますけども、たったこれあと1億円ちょっとしかないような少ない金額であれば、ヒフティー・ヒフティーにしまえば少なくとももっと早く財源の確保というか、そういうこともできたと思います。

ぜひ、市長にはこの分については県ともう少し強く交渉してもらいたいと。壱岐市の海砂がなかったら、それこそ県の建設骨材、これはもう本当に不足してしまうような状況なんで、そこまでこちらが強いわけですから、ぜひこの分については善処してもらいたいと思います。

それから、この2,500万円は、これ基本的に漁船なんでA重油の補助と考えていいわけですか。A重油、漁船用の燃料のA重油だけと考えていいわけですか。

議長（深見 忠生君） 山口産業経済部長。

産業経済部長（山口 壽美君） 町田議員の御質問にお答えします。

漁業用燃油の中で、A重油、軽油、ガソリン及び混合油ということで計上しております。

議長（深見 忠生君） 町田議員。

議員（6番 町田 正一君） そしたら補助金の額が。これリッター5円ですよ。

まあ、今確かに国際価格で半分ぐらいになってるんで、タイムラグがあるといってももう少し早く漁業用の燃料費に1日でも早く反映するぐらいにしてくれんと、もう今100何円とかというような、こんな高い燃料費を燃やしてはもう漁業が正直言って死活問題になっています。

まあ、今回こうやって市民に目に見える形で初めて市単独事業として出されたのは評価しますけれども、この沿岸漁業振興基金というのは基本的にそんなに使い道があるわけじゃないんで、僕はできたらタイムラグといっても2、3カ月のことだと思うんで、あと1億円あるんだったら2,500万円で5円できるんだったら、少なくとも今の倍のリッター当たり10円補助して、5,000万円の予算をつけてリッター当たり10円の補助っていうのは考えられなかったわけですか。

議長（深見 忠生君） 白川市長。

市長（白川 博一君） お答えします。

私は先ほどちょっと申しましたけども、この燃油の高騰がいつまで続くかわからんと思っております。私は、ある程度高くして、なくなったところでゼロにすることじゃなくて、やっぱり息の長い補助をした方がいいんじゃないかという、そういう観点に立っております。

議長（深見 忠生君） 町田議員。

議員（6番 町田 正一君） 先ほどの財政課長の説明で格差がリッター5円以内なら補助をしないというのは、これは何月何日を基準にして、それから5円以内に格差が変化した場合補助をしないというのはどういう基準になつととですかね。

議長（深見 忠生君） 山口産業経済部長。

産業経済部長（山口 壽美君） 20年4月1日現在を基準とするということしております。

議長（深見 忠生君） 町田議員。

議員（6番 町田 正一君） 20年4月1日を基準と言いましたけども、20年4月1日と言ったら既にもう燃費自体が非常に高く、この原油高の問題というのは漁業とか農業を直撃してあった時期なんですよ、もう、既に。

4月1日を基準にされるのであれば、これからリッター5円格差がなくなったら、補助金を打ち切るというのは、そういう政策っていうのは市の単独事業としては基本的にはあり得ないんじゃないかと思うんですが、できたらそれを基準は恐らくもう1年ぐらい前のやつを基準にしてもらわないと、これは20年4月1日って具体的にわかってますが、リッターどのくらい、例えばA重油を基準にしたら、リッター当たり、4月1日だったらA重油が幾らぐらいしとったと、それから5円下がったら、格差が5円乖離したらもう補助金はなくなるという、今の趣旨だったらそういうことになりますけれども、20年の4月1日、リッター当たり幾らしとったんですか。

僕は補助するんだったら、そんなもん3月31日までとりあえず期日を区切っとるんだったら、

乖離がどうのこうのというより前に3月31日まではそのままやってもらいたいというのが筋だと思いますけれども、それについては、部長、4月1日時点の例えばA重油が一番消費が多いですから基準にしてもらって、どのくらいになっとったんか、既にもう原油が高騰しとった時代だと思いますけども。

議長（深見 忠生君） 山口産業経済部長。

産業経済部長（山口 壽美君） A重油でいきますと、98円ということで算定しております。

（発言する者あり）町田議員のおっしゃるとおりに、19年の4月1日と20年の4月1日では結構差がございます。

そういう状況の中で、20年の4月1日は98円で、11月1日単価が118円程度になっております。そういう状況の中で、3月31日までを、価格差5円をなく、3月31日まで補てんするというにしたいと思っております。

議長（深見 忠生君） 町田議員。

議員（6番 町田 正一君） 今、大久保議員の方から資料もらいまして、やっぱり基本的に19年度の後半からは非常に急激にもう現に上がってるわけですよ。

だから、もう基準年度が20年の4月1日じゃなくて、例えば19年の12月とか、19年の本当言うたらもう4月ぐらいの、どうせ補助するんですから、リッター5円乖離したら補助金を打ち切るとか何とかじゃなくて、もう無条件に3月31日まではリッター当たり5円の補助金を出すと、その方が非常にわかりやすいと。後からごちゃごちゃ説明をつけ加えるから後でわからんことになるんで、ぜひ最後に市長にそういう方向でぜひやってもらいたいと思います。

議長（深見 忠生君） 白川市長。

市長（白川 博一君） ただいま町田議員がおっしゃいましたように、基準日は設けません。

3月31日まで、リッター当たり5円の補助をいたします。

議長（深見 忠生君） ほかに質疑ございませんか。 質疑はありませんので、質疑を終わります。

お諮りします。議案第88号については、会議規則第37条第2項の規定により、委員会付託を省略したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（深見 忠生君） 異議なしと認めます。したがって、議案第88号については、委員会付託を省略することに決定しました。

これから、議案第88号に対する討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（深見 忠生君） 討論なしと認め、討論を終わります。

これから、議案第88号平成20年度壱岐市一般会計補正予算(第4号)を採決します。この採決は起立によって行います。本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

議長(深見 忠生君) 起立多数です。したがって、議案第88号平成20年度壱岐市一般会計補正予算(第4号)は、原案のとおり可決されました。

日程第4 . 議案第89号

議長(深見 忠生君) 次に、議案第89号平成20年度壱岐市老人保健特別会計補正予算(第3号)を議題とします。

提案理由の説明を求めます。白川市長。

〔市長(白川 博一君) 登壇〕

市長(白川 博一君) 議案第89号につきましては、担当課長に説明させます。よろしく願います。

〔市長(白川 博一君) 降壇〕

議長(深見 忠生君) 山内保健環境部長。

〔保健環境部長(山内 達君) 登壇〕

保健環境部長(山内 達君) 議案第89号平成20年度老人保健特別会計補正予算(第3号)について御説明いたします。

補正予算書の1ページをお開き願います。

平成20年度老人保健特別会計補正予算(第3号)は、次に定めるところによる。歳入歳出予算の補正、第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4,200万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ5億469万8,000円とする。

2、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、第1表歳入歳出予算補正による。

本日提出でございます。

提案の主な理由でございますが、老人保健、老人医療そのものは平成20年3月診療分で終了いたしておりますが、各医療機関の事務の都合によりまして、月おくれの診療分の請求がまだ続いている状況の中で、今後医療給付費に不足を生じてまいりますので、今回補正をお願いしたものでございます。

次のページをお開きください。

2ページから3ページは、第1表、歳入歳出予算補正でございます。

次に5ページから7ページでございますけれども、歳入歳出補正予算書、予算事項別明細書で

ございます。

次に8ページをお開き願います。歳入予算補正について御説明いたします。

1款支払い基金交付金について、歳出額の4,200万円に見合う分としてその12分の6、2,100万円を計上しております。

2款国庫支出金についても、同じく歳出額の4,200万円に見合う分として12分の4の1,400万円を計上しております。

3款県支出金でございますけれども、見合う分として12分の1の350万円を計上しております。

4款繰入金につきましても同様に、見合う分といたしまして12分の1の350万円を市の一般会計繰入金として計上いたしております。

次に、10ページをお開き願います。

歳出補正予算について御説明いたします。

2款医療諸費において、医療給付費の月おくれ請求分の増額を見込みまして、残り9月請求分から半年間分といたしまして、今回4,200万円の補正を計上いたしております。

なお、月別の請求額でございますけれども、国保、社保あわせまして、4月分として67件、約1,100万円、それから5月分が払い戻し11件で約1,100万円、6月分が9件で払い戻し額約200万円、それから7月分が87件で1,000万円、8月分でございますけれども、18件で1,400万円、それぞれ2カ月おくれで請求がございまして、今10月分までの計算になっております。

それから、月によって請求金額が大きく変動をしておるのも御報告をさせていただきたいと思っております。

以上で、議案第89号についての説明を終わります。よろしく願いをいたします。

〔保健環境部長（山内 達君） 降壇〕

議長（深見 忠生君） これから質疑を行います。質疑はありませんか。質疑がないので、質疑を終わります。

お諮りします。議案第89号については、会議規則第37条第2項の規定により、委員会付託を省略したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（深見 忠生君） 異議なしと認めます。したがって、議案第89号については、委員会付託を省略することに決定しました。

これから、議案第89号に対する討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（深見 忠生君） 討論なしと認め、討論を終わります。

これから、議案第89号平成20年度吉崎市老人保健特別会計補正予算（第3号）を採決します。この採決は起立によって行います。本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

議長（深見 忠生君） 起立多数です。したがって、議案第89号平成20年度吉崎市老人保健特別会計補正予算（第3号）は、原案のとおり可決されました。

議長（深見 忠生君） 以上で、予定されました議事は終了いたしました。この際お諮りします。今期臨時会において議決されました案件について、その条項、字句、数字、その他の整理を要するものにつきましては、会議規則第43条の規定により、その整理を議長に委任されたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（深見 忠生君） 異議なしと認めます。よって、そのとおりに取り計らうことに決定しました。

以上で、本日の日程は終了いたしました。

これをもちまして、平成20年第6回吉崎市議会臨時会を閉会いたします。

大変お疲れでした。

午後2時32分閉会

地方自治法第123条第2項の規定により、署名する。

平成 年 月 日

議 長 深見 忠生

署名議員 坂口健好志

署名議員 中村出征雄